

岐阜県 難聴児支援センターだより

Vol.6

令和5年1月



片耳のきこえにくい子のセミナー

片耳がきこえにくいって… ～一側性難聴の方の体験談～

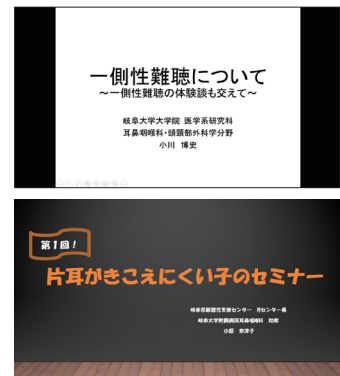
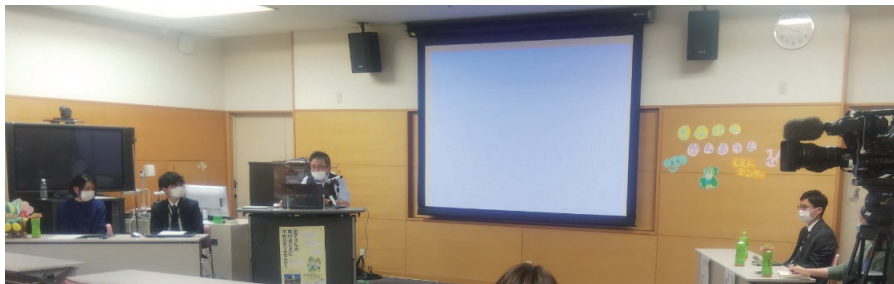
令和4年12月3日(土) 岐阜大学医学部附属病院多目的ホール

一側性難聴の子どもさんとそのご家族、医療機関や療育・教育機関の関係者の方も含め37名が多目的ホールで聴講しオンラインでの参加も14名ありました。

先天性の一側性難聴は両側性難聴と同様に出生児500～1000人に1人の割合で診断されます。そのほかにはウイルス、ストレスあるいは中耳炎などで起こりうる後天性(中途発症)の一側性難聴があります。しかし、多くの一側性難聴のお子さんは継続して頼る機関はなく介入がないまま教育、保育園、幼稚園、小中学校へ進学することが通常です。「一側性難聴に対する情報共有や同じ悩みを持つお子さん同士が相談できる場を作り、一側性難聴のお子さんがより過ごしやすい生活を送る環境づくりを目指したい。」と小原奈津子先生(岐阜県難聴児支援センター 副センター長)より本セミナーを開催することになった経緯等について説明がありました。

さらに、小川博史先生(おがわばくし、岐阜大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科 一側性難聴)に子どもころからの体験談をお話していただきました。

ご自身が小学校5年生の時に突然片耳が聞こえなくなってしまった時の思いやエピソードがわかりやすく説明され、学校生活やスポーツで困ったことやチームのみんなに理解してもらって体を押して伝達してもらうなどのコミュニケーション方法をお話されました。一側性難聴は周囲に話しづらい、理解されづらい、聞こえにくさから会話に入りづらいなど特性があり周囲に信頼できる人をつくる、理解し助けてくれる友達や人間関係をつくるのが重要ということでした。



最後に、岐阜市福祉型児童発達支援センターみやこ園 所長の森下功氏から、一側性難聴の児童に対する実際の支援内容とともに、一側性難聴の児童が補聴器導入に至った事例を紹介していただきました。

その後交流会では会場参加者と実生活での様々な場面での注意事項や周囲への理解開示を促すことが重要ということが認識され、とてもよい機会となりました。

岐阜県難聴児支援センターは片耳のきこえにくい、きこえに不安のあるお子さんとそのご家族に対しても県内地域格差なく支援できる役割を担ってまいります。

東濃地域ファミリーセミナー

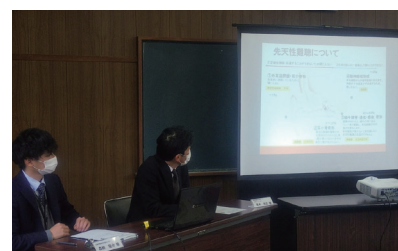
令和4年12月15日(木)

恵那特別支援学校、東濃教育事務所、岐阜県難聴児支援センター主催で東濃地域ファミリーセミナーを行いました。

■恵那総合庁舎 南棟会議室 14:30～16:30

講演で「こどもの難聴について」岐阜県難聴児支援センター特別アドバイザーの青木光広先生に小児の難聴についての講演をしていただきました。

座談会では聴覚に障がいのあるお子さんに関わる方々と日ごろの悩み、それぞれの思うところを話していただき交流をすることができました。



飛騨地域ファミリーセミナー

- 日時** 令和5年1月27日(金) 14:30~16:00
- 場所** ハートピア古川2階 ボランティアルーム(飛騨市古川町若宮2丁目1番60号)
- 内容** セミナー「こどもの難聴について」 講師:岐阜県難聴児支援センター特別アドバイザー 青木光広先生
座談会
- 参加対象者** お子さんのきこえに不安のある保護者の方、難聴のお子さんをもつ保護者の方
- その他** 参加費:無料 定員:15名

岐阜大学医学部附属病院 難聴児支援センター・ご利用案内

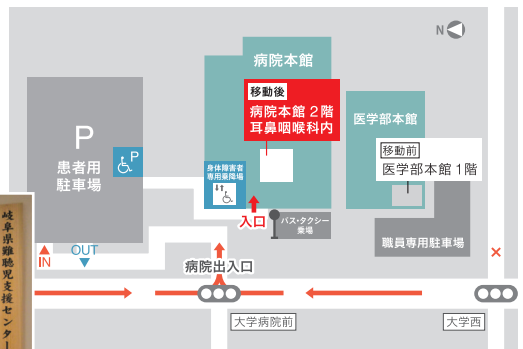
ご利用方法

- きこえの相談窓口【月~金 10:00~16:00】 ■「きこえの相談日」は毎週火曜日 10:00~16:00
- メール、FAXでの相談は随時対応させていただきます。(無料) 事前にセンターまでご連絡をお願いします。(無料)
LINEでもご相談いただけます。▶  センタースタッフが対応いたします。

移転のお知らせ

岐阜大学医学部附属病院の配置変更に伴い、下記のとおりセンターの相談窓口を耳鼻咽喉科内に移動することとなりました。移動後の相談窓口については、耳鼻咽喉科を受診したすぐに、相談対応を行うことができるなどセンターと病院との間での連携対応をこれまで以上に図ることができるようになりました。

1. 移動年月日 令和4年12月15日(木)から新窓口において、業務を開始
2. 移動先 〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学医学部附属病院本館2階 耳鼻咽喉科内
※なお、お越しの際は、従来どおり、岐阜大学医学部附属病院本館1階総合受付にお声掛けください。
3. 電話番号及び FAX番号
058-230-6198 (電話)
058-230-6199 (FAX)
(変更なし)
4. 利用時間 10時から16時(年末年始、土日祝日を除く)
(変更なし)



交通アクセス・病院へのアクセス



- 鉄道
【JR】
東海道本線「岐阜駅」で下車
【名古屋鉄道】
名鉄本線「名鉄岐阜駅」で下車

- バス
JR岐阜
名鉄岐阜
岐阜大学・病院線 / 約30分
直行便 清流ライナー / 約25分
岐南町線 / 約40分
岐阜大学
病院下車
料金
(330円)

発行: 岐阜大学医学部附属病院

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1
TEL 058-230-6198 FAX 058-230-6199

<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/origin/gifu-deaf-center/>
E-mail: g_nantyo@gifu-u.ac.jp